

教科用図書調査報告書

甲府市教科用図書採択審議委員会

1 種目 音楽（一般）

2 報告概要

教科書名 出版社名	特 徴
『音楽のおくりもの』 1 2・3上 2・3下 教育出版	<p>（1）表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の巻頭の「音楽はメッセージ」の部分に、今活躍されているさまざまな音楽のジャンルの方のメッセージがあり、生活や社会の中の音楽についての関わりを感じることができる。 ・全教科書 p8～9に「学習マップ」があり、全体を見通した学習内容がわかる。「題材の目標」や「音楽を形づくっている要素」とのかかわりが明確に示されている。 ・各学年とも「Active!」では音楽的な見方・考え方を働かせて整理し、友だちと交流して学習ができるようなページが設定されている。 ・歌唱教材や鑑賞教材に「比べてみよう」のコーナーがあり、同じ作曲家の曲や、外国の歌を比較しながら音楽を味わうことができる。 ・鑑賞では、各学年に、我が国と諸外国の多様で豊かな声による表現について取り上げられている。音楽文化と豊かに関わりながら学習深める教材が設定されている。 ・全学年を通し、p4の「作者の思いにふれる」のページがあり、作曲家の生き方や思いを知り、さらなる音楽への関心につながる工夫がされている。 ・「コンピュータと音楽」で、生活の中でのコンピュータと音楽の関りを学ぶことができ、「音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ」で社会のなかでの音楽の役割やSDGsと音楽の関わりについて示されている。（2・3年下） <p>（2）実践的・体験的な学習を行うことができるよう配慮されており、生徒の生活や体験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指揮の学習では、基礎的な知識・技能を動画のコンテンツを活用しながら学習することができる。（1年、2・3年下） ・書き込めるページが多く、学習の振り返りや、実践的に学習を進めることができるようになっている。 ・「Let's Try」では、ケチャや唱歌、勸進帳など我が国の音楽や諸外国の音楽を体験し、生徒の興味・関心に応じた内容になっている。 ・創作では、各学年ともに実生活と結びついた言葉や内容で、生徒が興味・関心をもって取り組める工夫がされている。 <p>（3）「A表現」と「B鑑賞」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められ</p>

	<p>るよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科書の「学習マップ」に、共通事項を軸にした学習の進め方が提示されている。 ・歌唱・鑑賞教材に、進んで学び合うための活動「Active！」が設定されている。ワークシートを活用しながら、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている。 ・鑑賞した曲の特徴をまとめ、それをもとに「Let's Try」で表現に生かすことができるよう構成が工夫されている。 ・二次元コードで読み取る「まなびリンク」が豊富にあり、主体的に学習することができる。 <p>(4) 音楽の記号及び用語、図や写真、挿絵等が適切であり、自己のイメージや感情、生活や社会、文化などに関連付けやすいよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の表紙のイラストは、教科書で出会う歌唱教材の歌詞をモチーフに描かれている。 ・曲のもつ季節感や情景がイメージしやすい大きな写真が掲載され、「まなびリンク」で動画を観ることもできる。 ・「コンピュータで表現しよう」(1年)「私たちのくらしと音楽～音楽著作権について～」(2・3年上)「音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ」(2・3年下)など、社会と音楽の結びつきを感じさせる内容を掲載している。 ・巻末に、楽典と鑑賞に関わる楽器がまとめられている。(1年、2・3年上) ・音楽史のページが、豊富な絵や写真で1ページに見やすくまとめられ、時代の移り変わりがわかりやすい。(2・3年下)
<p>『中学生の音楽』 1 2・3上 2・3下 教育芸術社</p>	<p>(1) 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年とも巻頭ページにおいて、各界で活躍する方から中学生へのメッセージとして、中学時代の音楽とのかかわり方について書かれ、生徒が音楽の学びに向かう力や、音楽的な見方・考え方を育てる内容となっている。 ・各学年で学ぶ学習内容が一目でわかるページ(p8～9)があり、「音楽を形づくっている要素」を含めて、それぞれの教材で何を学習するのかわかりやすくまとめているため、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・「生活や社会の中の音楽」として、各学年の発達段階に応じて、生活の中にあるさまざまな音楽に関心を促すことができる内容を扱っている。 ・音楽とSDGsとの関連を学ぶことができる。また、音楽の著作権についても詳しく示されている。(2・3年下) ・各学年に「音楽を形づくっている要素」に関するページがあり、発達段階に応じて、既習事項を具体例として掲載しながらわかりやすく説明している。 ・全学年ともキャラクターの吹き出しを参考にしながら思考・判断・表現の資質・能力が高められる工夫がされている。

・創作では、1年生で既習した内容をもとに、2・3年生で発達段階に応じた学習ができるようになっている。

(2) 実践的・体験的な学習を行うことができるよう配慮されており、生徒の生活や体験及び興味や関心に応じた内容であるか。

- ・各学年とも、我が国や郷土の伝統音楽を学習する際に、親しみをもって音楽に接することができるよう唱歌や民謡、能の謡などの体験活動が示されている。
- ・直接書き込めるページが多く、学習の振り返りができたり、実践的に学習を進めたりできるようになっている。
- ・各学年の「指揮をしてみよう」では、鑑賞曲を聴きながら体を動かしたり、指揮をしたりすることで、豊かな音楽活動ができるような配慮がされている。
- ・歌唱教材では、二次元コードからパート別音源や伴奏を聴くことができ、実践的に学習を進めることができる。
- ・鑑賞「イメージと音楽」では複数の曲の中から生徒の興味・関心に応じて選択することができ、主体的に学習が進められるよう工夫されている。(1年)
- ・「リズムゲーム」や「リズムアンサンブル」のコーナーでは、体験しながらリズムを楽しく覚えていく工夫がされている。(1年、2・3年上)
- ・各学年とも「心通う合唱」にさまざまな歌唱曲が収められており、歌いやすい曲や新しい曲など多くの曲と出会うことができる。

(3) 「A表現」と「B鑑賞」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。

- ・歌唱・鑑賞には「学びのコンパス」が掲載され、曲に対する自分の考えをもち、友だちとの意見交流を通して表現や鑑賞の学習を深めることができるように工夫されている。「主体的・対話的で深い学び」を実現することができる。(1年、2・3年上)
- ・歌唱教材では、発達段階に沿った教材が採用され、学びやすい配列となっている。
- ・鑑賞については、各学年の教科書の教材数や学習内容が生徒の発達段階に応じたものになっている。
- ・「My Voice!」では、各学年系統的に歌い方について学べる工夫がされている。
- ・創作では、無理なく取り組みやすいワークシートや入力した旋律をすぐに視聴することができるデジタルコンテンツがあり、生徒が自主的に創作を進めることができる。
- ・生徒の興味・関心に応じて活用できる資料がデジタルコンテンツで用意され、個別最適な学びが実現できる。

(4) 音楽の記号及び用語、図や写真、挿絵等が適切であり、自己のイメージや感情、生活や社会、文化などに関連付けやすいよう配慮されているか。

- ・表紙のイラストは各学年の教科書が続き絵となり、3年間の学習のつながりが深まるように工夫されている。
- ・巻頭ページでは、有名な俳優やアーティストの音楽への思いをメッセージ動画付きで見ることができ、生徒の関心・意欲を高めることができる。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・歌詞の内容を理解したり、歌唱表現を工夫したりする際の手がかりとなるよう、歌詞のイメージに即した大きな写真や動画にアクセスできる二次元コードが掲載されている。・区別しやすい配色やシンプルなデザインが採用されていたり、ユニバーサルデザインフォントが使用されたりしている。誰もが読みやすい文章や楽譜となるよう配慮されている。・各学年の巻末に「音楽の約束」というコーナーがあり、音楽記号や用語がまとめられている。 |
|--|---|